

さる 11 月 26 日、情報システム学会全国大会・研究発表大会が新潟国際情報大学・新潟中央キャンパスで開催されました。本学会設立の提唱者で、本学初代の情報文化学部長を務められた浦昭二先生がご逝去されて 10 年。その追悼として本学で大会を開催することとなりました。大会テーマは、「新潟から発信する未来の情報システム：起業家がつくる快適な地域社会」とさせて頂きました。

大会では、研究発表（ロング 9、ショート 11）とポスターセッション（6）、合計 26 件の報告があり、活発な議論がかわされました。特別講演では、(株)ユニークワン代表取締役社長の立川和行様から「安定思考の私が新潟に戻って起業した理由」と題し、またフラー(株)代表取締役会長の渋谷修太様からは「起業家の力で、故郷を元気に」と題して自らの体験をふまえたお話がありました。両講演から新潟にかける情熱や将来構想が力強く伝わってきました。引き続き、「浦昭二記念賞」の表彰式が執り行われ、「株式会社アシスト」と「向洋電機土木株式会社」の 2 社に実践賞が贈られました。

大会の締めくくりとして本学会が標榜してきた「人間中心の情報システム及び情報システム学」の取組みと今後のあり方について、本学情報システム学科長である石川洋先生の司会で、砂田薫本学会会長、伊藤重隆本学会名誉会員、及び高木義和新潟国際情報大学名誉教授をパネラーとして、パネルディスカッションが行われました。

コロナ感染症の終息が見えない状況で、最後まで開催できるかどうか不安でしたが、佐々木桐子大会実行委員長のもと、大会実行委員、大学事務方並びに 5 名の学生の協力により無事に大会を運営することができました。大会参加者、大会関係者に感謝いたします。当日は開催校の学生を含め 75 名の参加があり、大会は成功裏に終了しました。

全国大会の開催にあたり、企業 5 社から協賛を頂きました。また新潟県を含む 24 の学会、協会、企業からご後援を頂きました。協賛、後援を頂いた団体の皆様にはこの場をお借りしてご報告とお礼を申し上げます。

(大会委員長 小林満男)

第 18 回情報システム学会全国大会・研究発表大会

新潟中央キャンパスで開催

新潟から発信する未来の情報システム

— 起業家がつくる快適な地域社会 —